

聖書神学舎

第 50 回 2026 年度夏期研修講座

「福音宣教の接点～古代カナンから現代日本へ～」

津村俊夫（聖書学研究所所長）

宣教学の専門でない私が宣教について語るのにはいささか躊躇いもありますが、長年、聖書とそのコンテキスト（脈絡）である古代カナン（ウガリト）に位置づけて学び、現代日本（羽村）で「みことば」に仕える人たちに聖書を教えることに関わってきた者として、少しばかりお話しさせていただきます。

私は今年、神学生として聖書を学びはじめて 60 年になります。はじめの 40 年は、ギリシア語、ヘブル語、ウガリト語を含むセム諸語、そして日本語を学んで来ました。それから 20 年間は、聖書翻訳に直接従事することになり、聖書翻訳と宣教との関わりを強く意識するようになりました。聖書を読者に適切に伝達するために、「神」「たましい」「御霊」「よみ」「霊」という訳語の検討をすることは、正に宣教の問題に深く関わることです。それは、明治以来のキリスト者がキリスト教の教理を正しく日本人に伝えるべく、身を削る思いで格闘された結実であると思います。

このことは、聖書そのものが、それが語られ書かれた時空の具体的なコンテキストにおける「宣教」の本であったことと無関係ではありません。「神のことば」は、最初に書かれた時代の文化と宗教の脈絡の中で、当時の「人間の普通の言語」によって語られ書かれたものです。ここに、福音宣教の接点(point of contact)としての「啓示と文化」の関係があります。旧約の「神の民」はカナンの言語・宗教・文化の真ただ中で、新約の「神の民」はローマの異教社会の一員として、「神のことば」に聞き、「みことば」によって導かれました。

「啓示と文化」の問題は、福音宣教と文化の問題でもあり、日本においては「宗教としての天皇制」に代表される、「賢所」における太陽崇拜、「皇霊殿」における先祖崇拜、「神殿」における「神さま」崇拜（自然崇拜）と対峙し、いかに福音を宣べ伝えるかという問題です。私たちは近年、二度（1990 年、2019 年）の大嘗祭を経て、それらのことに直面させられて来ました。このなかで、聖書の「神」と日本的「神さま」の関係を、一神教と多神教の関係としてとらえるだけでよかったのか、そのことを再検討する必要があるのではないのでしょうか。

私たちは「神」(god)の複数「神々」(gods)である、と当たり前のようにして理解してきましたが、果たしてそれでよかったのでしょうか。「神」とか「霊」の複数とは何を指すのでしょうか。一般の日本人は「神々さま」を信心しているのではなく、漠然とした「神さま」を信心しているということではないのでしょうか。夏期研修講座では、最近のウガリト研究も踏まえて、これらのことを考えたいと思います。

一方で、聖書の「三位一体の神」は新約聖書で、御子イエスが人となられて、はじめて啓示されたのでしょうか。「三位一体」の神は、旧約聖書においてどのようにご自身を啓示されたのでしょうか。「三位一体の神」が永遠から永遠に存在しておられるとはどういうことを言っているのでしょうか。

日本に於ける福音宣教の課題と接点について再確認しておきたいと願っています。

テーマ：「福音宣教の接点～古代カナンから現代日本へ～」

講師：津村 俊夫 師

対象：牧会者・牧会者の配偶者

会場：奥多摩福音の家

東京都西多摩郡奥多摩町小丹波 135 JR 青梅線・古里（こり）駅徒歩 7 分

期間：2026 年 6 月 29 日(月)～7 月 1 日(水)昼食まで

定員：先着順 60 名

申込：Google フォームからお申し込みください。

<<http://bit.ly/46CvQv5>>

回答送信後の自動返信メールをもって受付連絡といたします。

自動返信メールが届かず、迷惑メールボックスにもない場合は、

大変お手数ですが、聖書神学舎事務局までご連絡ください。



期限：5 月 27 日(水)

※ 受付は先着順です。

連絡：お申し込みの方には、6 月初旬以降に詳細をご連絡いたします。

費用：当日会場にて現金でお支払いください。

A 館 2 泊 6 食の場合：25,000 円

B 館 2 泊 6 食の場合：31,000 円

※ 部分参加の場合は費用が異なります。

駐車場：会場施設の駐車場は利用可能台数が限られています。

できる限り公共交通機関をご利用ください。

特別な事情により駐車場利用をご希望の場合は、必ず申込時にお知らせください。

複数人での乗り合わせの方を優先して、駐車場利用を調整いたします。

ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

注意：1. キャンセルのご連絡は、6 月 18 日(木)午前中まで受付可能です。それ以降はキャンセル料が発生しますので、ご注意ください。

2. 参加費は税込で、受講料・宿泊食事代（2 泊 6 食）・リネン代を含みます。

3. 部分参加の場合の費用は、お申し込み後、6 月初旬以降にお知らせします。

4. B 館はバス・トイレ付きの施設で、ツインでの申し込みも可能です。ただし、収容数が限られているため、B 館お申し込み多数の場合は、A 館への変更をお願いする場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

4. 経済的な事情がある方や交通費負担が大きい遠隔地の方のために、経費補助の可能性が 있습니다。ご希望の場合は、申し込みフォームでお知らせください。補助の有無の結果については、6 月初旬以降にお知らせします。

タイムスケジュール

| 6月29日(月) | 6月30日(火) | 7月1日(水) |
|----------|------------------|-----------------------------|
| | 7:00 朝の祈禱会 | 朝の祈禱会 |
| | 8:00 朝 食 | 朝 食 |
| | 9:00 ③ 講 義 3 | 9:50 総 括 |
| | 10:30 | 10:00 ⑤ 講 義 5 |
| | 11:00 ④ 講 義 4 | 11:30 |
| | 12:30 昼 食 | 11:40 閉会礼拝 (若井 和生) 12:10 |
| | 13:30 | 12:20 昼 食 |
| 15:30 | 自由時間 | 13:00 |
| 16:00 | | |
| 16:15 | | |
| ① 講 義 1 | | |
| 17:45 | | |
| 18:00 | 夕 食 | 夕 食 |
| 19:00 | ② 講 義 2 | グループディスカッション |
| 20:30 | | |

聖書神学舎

〒205-0017 東京都羽村市羽西 2-9-3

Tel 042-554-1710 Fax 042-554-5562 www.bibleseminary.jp